

1. 対象部材

戸建住宅玄関ドア用空錠

略称：CJK 錠

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

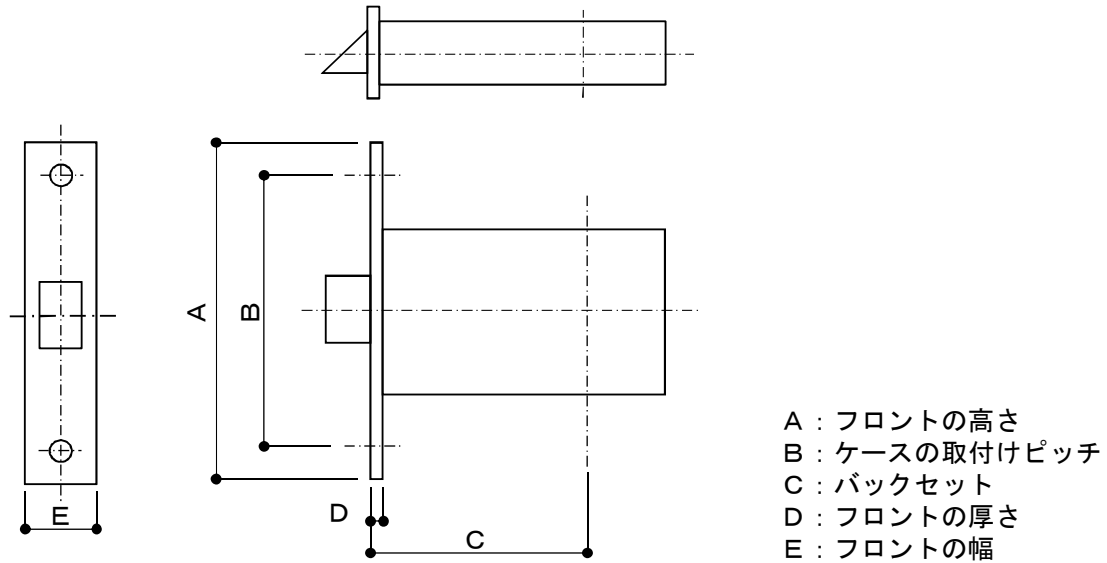


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A : フロントの高さ	104
B : ケースの取付けピッチ	82
C : バックセット	64
D : フロントの厚さ	4
E : フロントの幅	24. 8 ≤ E ≤ 25

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK” マークを表示する。

5. 特記事項

関連部材が具備すべき条件については長住協HP等で確認する。

6. 解説

6.1 空錠

扉が閉まった状態で開かないように維持するための錠。

ドアノブやハンドルを廻すことで扉を開閉するサムターン、シリンダーなどの鍵は取り付かない。

6.2 取付について

部材のドア本体への取付は、M4皿小ねじを用いる。

6.3 標準(共通)化の部位について

ケース本体部の外形寸法については、フロント部で規定される”ケースの取付けピッチ”および”フロントの幅”より小さいことが明らかであることから、標準(共通)化の部位から除外した。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2014年3月20日改訂

- ・”7. 共通事項”を基準書記載内容改訂により記載
- ・”6. 解説”の箱錠と防犯錠(CP錠)の説明書き削除
- ・符号、書式の統一

8.2 2016年4月28日改訂

- ・対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・特記事項追記による改訂
- ・7.1寸法について記載内容改訂

8.3 2018年3月22日改訂

- ・基準書作成要領の改訂に順ずる改訂
- ・”2. 標準(共通)化の部位”にD、E項追加
- ・”3. 寸法・形状”標準寸法にD、E項追加
- ・”6. 解説”に取付および標準(共通)化の部位についての文章を追加